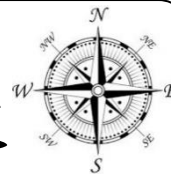


羅針盤



太秦中学校
進路指導部
7月14日
No.31

模擬試験について

本日は模擬テストの紹介をします。模擬試験を受けると、受験勉強をする上でたくさんのメリットがあります。先日の『ようこそ先輩』の授業でも模擬試験の大切について話しておられた先輩がいましたね。



① 同学年の中学生の中で、自分のポジションを知ることができる。

入学試験までに自分がその学校を志望する受験生の中でどの程度の位置にいるのか、合格の可能性が高いのか低いのか。また、自分の成績が伸びているのかどうか、そういうことを客観的に知らせてくれるのが模試です。模試を繰り返し受けて自分の力が把握できてこそ、入試までに何をどのくらい勉強すればいいのかがわかり、受験勉強の作戦を立てることができます。

② 自分の学力状況を知ることができる。

得意な教科や苦手な教科は、授業や普段の勉強の中でだいたいわかりますが、どの程度苦手なのかは正確に知ることはできません。また、自分では特に苦手意識がないのに実は理解できていないことや、得意教科の意外な苦手单元など、自覚がないウィークポイントに自分で気づくのはかなり難しいです。それらに気づかせてくれるのが模試の大切な機能です。模試の返却資料には教科単位の偏差値だけでなく、出題された分野別のでき具合を分析した結果も載っています。それを見れば、これからどんな勉強をするべきか、具体的な方針を立てることができます。

③試験の受け方を練習できる

試験当日に結果を出すには入試問題の形式に慣れ、そこでの対処のしかたを身につけておくことが必要です。たとえばスポーツでも、個々の技術が高くても、実戦経験を積まないといいプレーはできないし、戦力になりません。それと同じことです。模試は実戦練習なのです。模試でしか経験できないことがいくつもあるので見てみましょう。

- 何が出るかわからない試験への向き合い方
- 時間内に問題を解くペース配分の練習
- 試験独特の雰囲気を経験。など

④やる気が出る、気持ちが引き締まる

模試を受けてその結果が返ってくると、自分の点数や偏差値、合格可能性判定などを見て、気持ちが動きます。思ったとおりの好成绩なら「よし!」と気合いが入るし、志望校との距離を思い知らされてがっかりということもあるでしょう。模試はあくまでも途中経過だからその評価にとらわれすぎてはいけませんが、そのように気持ちを動かせることは志望校を目指す強い意志を改めて自覚するよい機会になります。結果を受け止めることでやる気が湧いてきます。これは模試の大切な効果の一つです。